



# 沖縄市議会だより



okinawa city assembly news 2010

平成22年9月定例会

第27号

平成22年12月14日



平成22年第341回沖縄市議会9月定例会が、9月28日から10月20日までの23日間の会期日程で開かれました。9月定例会は、平成22年度沖縄市一般会計補正予算（第2号）ほか40件の議案等が審議されました。

## 平成22年 第341回 9月定例会会期日程

9/28	火	正副議長の選挙	定例会開会、議長の選挙
29	水	各常任委員の選任等	副議長の選挙、常任委員・議会運営委員の選任
30	木	市内視察研修	各施設等の視察
10/1	金	議案説明	議案の提案、説明
4	月	議案研究	議案の研究
5	火	議案審議	議案への質疑(委員会付託及び付託省略)、討論、採決
6	水		
7	木		

8	金	常任委員会	総務、教育福祉、市民経済、建設委員会における付託案件の審査
12	火		
14	木	委員長報告等	各委員会における審査報告及び採決議案の提案、説明 議案への質疑(委員会付託及び付託省略)、討論、採決
15	金	一般質問等	市の行政事務についての質問 議案の提案、説明 議案への質疑(委員会付託及び付託省略)、討論、採決
18	月		
19	火		
20	水		

### 傍聴のご案内

市議会では、市民の皆さんの生活に密着した重要な問題や課題が審議されています。市政を身近に知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

■発行/沖縄市議会 ■編集/沖縄市議会議会報編集委員会

沖縄市仲宗根町26番1号

TEL 098-937-3405 FAX 098-938-1094

## 沖縄市議会議員の紹介

順番は議席番号順

氏名  
会派名：当選回数  
現住所

平成22年9月28日現在

去る9月12日に行われました第10回沖縄市議会議員選挙で当選された議員を紹介いたします。

議員数は地方自治法で規定され、本市(人口10万以上20万未満の市)においては34名が上限となりますが、条例を制定し第8回沖縄市議会議員選挙から30名の定数となっています。

任期は平成22年9月28日から平成26年9月27日までとなります。

市民の代表として市政発展のため  
全力で頑張ります。



喜友名 朝彦  
しんせい:1  
園田3-11-43 207号



宮城 浩  
市民ネットワーク:1  
泡瀬3-11-8



宮島 眞則  
市民ネットワーク:1  
諸見里3-47-14



諸見里 宏美  
護憲フォーラム:1  
上地3-7-7



桑江 直哉  
護憲フォーラム:1  
泡瀬1-34-25



長嶺 喜清  
新進の会:2  
大里2-24-22



新屋 勝  
新進の会:1  
越来3-12-25



阿多利 修  
公明党:3  
胡屋5-4-8 303号



高橋 真  
公明党:1  
字美里1353 201号



小渡 良太郎  
しんせい:1  
泡瀬4-43-1



# 沖縄市議会だより



新里 治利  
しんせい:1  
字美里1515-3 1-D



喜納 勝範  
市民ネットワーク:3  
越来2-12-16



森山 政和  
市民ネットワーク:1  
南桃原3-35-22



瑞慶山 良得  
護憲フォーラム:2  
山里1-21-6



高江洲 義八  
護憲フォーラム:1  
字古謝155-1

## 副議長



普久原 朝健  
新進の会:2  
泡瀬6-14-6



辺土名 和美  
新進の会:2  
海邦2-20-10



与那嶺 克枝  
公明党:6  
泡瀬2-39-13



花城 貞光  
公明党:4  
諸見里1-31-22



仲宗根 誠  
しんせい:1  
胡屋3-6-28



島袋 勝元  
新・沖縄クラブ:6  
美里2-5-6



棚原 八重子  
市民ネットワーク:4  
照屋1-17-5



池原 秀明  
日本共産党:6  
知花6-16-2 2F-2



前宮 美津子  
日本共産党:2  
照屋1-40-12



新垣 萬徳  
護憲フォーラム:4  
安慶田1-24-36

## 議長



仲宗根 弘  
新進の会:4  
登川2-25-10



小浜 守勝  
新進の会:4  
園田3-26-10



浜比嘉 勇  
D-wing:7  
中央2-7-32



瑞慶山 良一郎  
D-wing:3  
室川2-27-53



新里 八十秀  
新・沖縄クラブ:8  
知花1-4-22

一般質問

今定例会の一般質問につきまして  
は紙面の都合上、主な内容を要約し  
て掲載してあります。

なお、詳しい内容は会議録を市  
立図書館、自治会事務所でごらんにな  
るか、議会ホームページで会議録  
検索システムをごらんください。

○前宮美津子議員

国保行政について

現在、社会保障としての国民健康保険  
を守る国と自治体の責任が厳しく問われ  
ているが、①二〇〇九年度本市国保加入  
世帯の平均所得、平均保険料額、滞納世  
帯割合、保険料収納率、所得別滞納世  
帯の特徴は。②二〇一〇年度九月末現在  
の本市の短期証発行割合、保険証未更  
新世帯割合、資格証数は。③本市は一  
般会計から国保会計への政策的繰り入れ  
をふやし、高すぎる国保料を引き下げ、  
市民負担を軽くする努力をしているが、  
それでも市民は悲鳴を上げている。当局  
の見解は。④二〇〇九年度国保の赤字の  
要因は何か。前期高齢者交付金の影響に  
ついて類似都市との比較で説明をいただ  
きたい。⑤本市は十八歳以下の無保険状  
態のすべての子供を対象に保険証を届  
け、いつでも病院へ行ける体制をとった  
とのことだが、対象世帯・人数及び現状  
は。

●市長

国保制度の構造的な問題については、沖  
縄県市長会として国に申し入れしていく

ことが決まっております、直接伺い要請して  
いきたいと思えます。

●健康福祉部長

①平成二十一年六月現在で国保加入二万  
五千六百十世帯の平均所得は百七万九千  
七百五十円、平均保険料額は十二万二千  
九百四十八円です（世帯当たり）。滞納  
世帯割合は平成二十二年五月末現在で  
三四・一二％、平成二十一年度保険料収  
納率は現年度一般分で八八・一九％です。  
所得別滞納世帯の特徴として低所得者が  
圧倒的に多く、所得が低いほど収納率が  
低い傾向にあり、所得段階ゼロ円世帯の  
収納率が七七・九％と最も低くなってい  
ます。（以下略）②二〇一〇年度九月末  
現在の本市の短期証発行割合は、国保世  
帯総数二万五千七百六十世帯に対し三千  
三百四世帯、一二・八三％、今年度の保  
険証未更新世帯割合は、千七百七十八世  
帯、五・七％、資格証数は一件です。③  
本市国保財政は、一般会計からの繰り入  
れ十一億円（今年度）や現下の経済状況  
も重なり国保料の支払いも厳しい状況と  
なっており、制度の構造的な問題につい  
て、引き続き沖縄県市長会を通して問題  
提起し、改善を求めていきたいと思いま  
す。④国保加入者が受ける医療費（平  
成二十一年度までの十年間）約三十二億  
円の伸びに対し保険料は横ばいです。前  
期高齢者交付金導入以降、九州各県が増  
加しているのに対し、沖縄県は特殊事  
情（出生率が高い、沖縄戦の影響などで  
前期高齢者が少ないなど）が算定に影響  
し約二十二億円の減少となり国保財政悪  
化の一因となっております。宮崎県都市  
との比較で、一般医療給付費に対する前  
期高齢者分医療給付費の割合は、本市三

○森山政和議員

環境衛生について

南桃原四―一四―一五―四―一五  
―一五の地域は、指定収集場所まで一  
番遠い家庭で約一〇〇メートルもあり、  
なかには八十歳を越すお年寄りの家庭も  
ある。施政方針に「すべての市民にまん  
べんなく多様なサービスを提供する」と  
あり、また、地方公務員法三十条に「す  
べて職員は、全体の奉仕者として公共の  
利益のために勤務し、且つ、職務の遂行  
に当つては、全力を挙げてこれに専念し  
なければならない」とある。この地域で  
ごみを収集している職員の対応をどう見  
るか。今の状態が続けば市長の信頼も損  
なわれていくのではないかと危惧してい  
る。パッカー車はとめておいて職員が一  
軒ずつ回つてもよいのではないか。改善  
策を伺う。

●市民部長

家庭ごみの収集は原則門前収集です  
が、袋小路となっている住宅地などにつ  
いては、なるべく近い場所に集積地を設  
けるなどの対応となっております。南桃原  
四丁目一五番、一六番地域は袋小路で道  
路幅員が狭く、収集車両がUターンする  
空地がない上、一番奥の住宅からの距離

が約一〇〇メートルと長くなっている  
特殊な箇所のため門前収集が厳しく、北  
谷小学校裏門付近を集積場所としていま  
すが、現在、当該地域の状況を確認して  
おり、住民の理解、協力のもと、収集車  
両がUターンできる場所の確保など改善  
に向け積極的に取り組んでいるところで  
す。

○宮島真則議員

敬老事業名簿について

①市全体の敬老事業対象人数は何  
人か。全体の補助金の額は。②対象者名簿  
は自治会に提供できないのか。③住民台  
帳が各自治会に配られなくなった平成十  
三年から、当時の名簿をもとに名簿を作  
成し、自治会の敬老事業の案内を出して  
いる状況である。当局は自治会が持って  
きた名簿の転出、死亡のチェックも（個  
人情報保護に）抵触することだが、  
よくわからない。市民に等しくサービ  
スする、敬老事業もやってくださいとい  
うことで補助金も出すわけであり、名簿  
は自分たちで調べてくれでは話が通らな  
いのではないか。亡くなった方、転出の  
チェックもお願いしたいが、自治会の名  
簿から漏れている人に確認をとり、自治  
会の敬老会のための名簿提出などの働き  
かけが市でできないか。

●健康福祉部長

①敬老事業対象者の人数は、五千二十  
六人（平成二十二年四月一日現在、八  
十歳以上）で、事業費の予算額は三百四  
十四万円です。②対象者の名簿提供につ  
いては個人情報保護の観点から本人同意  
がないと提供することはできないことにな  
っております。③個人情報に関しては、



亡くなられた方も該当するというところで、死亡、転出をチェックしてお教えすることはできないということです。なお、自治会の名簿の中に対象者がいるかどうかを確認し報告できるかについては、個人情報担当、市民課（住民基本台帳の係）、情報推進課が持っているデータなどがチェックできるか再度検討させていただきます。また、同意が得られれば情報として流せますので、前向きに検討して、できる限りやっていきます。と思います。

## ○宮城浩議員

### ●中心市街地活性化基本計画について

事業全体の進捗状況について、①ハード、ソフト事業両面から市内業者への発注及び依頼は現状でどれぐらいあるのか、または予定しているのか。②本年度四月からこれまでに市内業者への事業周知による公募等（事業主側からの提案等含む）があったか。また、現在五十事業とのことだが、国は整合性があれば、さらに増加しても構わないということも聞いている。公募について今後どう考えるか。③既に四年半切っている中で事業達成見込みを含め、市内業者優先発注を軸に市内業者育成に努め、雇用創出につなげるべく、執行部としての取り組み方を考えを伺う。

## ●経済文化部長

①中心市街地活性化基本計画における事業のうち、既に実施している市街地整備、体育施設整備などのハード事業、また中心市街地循環バスや情報発信事業などのソフト事業については、原則として市内企業を活用しています。今後実施

する予定の事業についても、引き続き市内企業の活用を推進して行きたいと考えています。②基本計画に位置づけられた事業の選定については、計画策定段階において、関係団体等への説明会、協議会の中で検討を進めてきました。民間からの事業提案としては、胡屋地区リノベーション事業やプロムナードコンサート事業等が選定されています。また、現在基本計画には五十事業が位置づけられていますが、我々もさらなる事業の拡充が必要だろうと思っており、引き続き事業拡充に努めて行きます。その方法の一つとして、公募についても前向きに取り入れていきたいと考えています。③平成二十二年度から平成二十六年までの計画期間内に着実に事業を推進するとともに市内業者への優先発注という方針に基づき、引き続き市内企業の育成に努めて行きます。また、同計画における大型の市街地整備事業をはじめ、民間が実施する予定の空き店舗対策事業等の支援により、雇用の場の拡大も図って行きたいと考えています。

## ○喜納勝範議員

### ●本市児童、生徒の健全育成について

去る七月に起きた少女暴行事件は、社会を震撼させると同時に、被害者、加害者双方の親たちを苦悶させていることに心が痛む。このような事件を聞くたび、学校、地域、家庭の連携の弱さを痛感する。学校、地域、家庭の結びつきが欠如し、子供の居場所がなくなることで不登校に陥り、いじめや虐待、飲酒、喫煙という非行に走ってしまい、それが常態化してあのような痛ましい事件を起こしてしま

うのではないかと考える。本市児童、生徒の①不登校の実態と対策について、学校協力支援補助員の役割と効果、②児童、生徒の虐待の実態と対策、③児童、生徒のいじめの実態と対策、④児童、生徒の飲酒、喫煙の実態と防止対策について伺う。

## ●教育委員会指導部長

①ここ数年、小学校三十人前後、中学校百八十人前後で推移しており、教育委員会では不登校対策ヒアリング、不登校等相談員の派遣、学校支援協力補助者の配置等の支援、学校では休みがちになった子供の家庭への電話連絡、訪問、相談を早い段階で行うことで、不登校の早期対応、未然防止を目指しています。また、学校支援協力補助者を本年度九月から安慶田、沖縄東、山内、越来の四中学校へそれぞれ一人ずつ配置し、不登校傾向の生徒に対する登校支援、居場所確認並びに学習支援、地域の巡回パトロール等の活動をしており、二人の不登校生徒、三人の遅刻常習者が、現在、通常の学校生活を送れるようになっていくという成果が届いています。②教育委員会への報告、相談件数は二十一件（平成十七年度から二十一年度）で、すべて養育放棄（ネグレクト）によるものです。虐待防止については、教師による日常の健康観察、日記等を通して日常生活の点検、教育相談を通して子供から実際に聞き取りをする等の対応を行っています。③昨年度、教育委員会に報告のあった件数は小学校五件、中学校九件で、過去三年間で最も低い数値となっていますが、数値にあらわれない子供同士のトラブルや保護者からの相談等もあり、学校においては、いじ

め等を未然に防ぐために定期的なアンケートの実施、教育相談や道徳の授業の充実などの対応をしています。④昨年度の校内での飲酒が小学校ゼロ件、中学校七件、喫煙は小学校二十八件、中学校百四十一件となっています。学校においては薬物乱用防止の観点から、喫煙や飲酒の害についての定期的な特別授業や毎月一回の校区生徒指導連絡協議会を開催し、校外においては青少年指導員や退職教員によるパトロールを行うなど未然防止に努めています。

## ○喜友名朝彦議員

### ●脳性麻痺児童の普通学校への入学問題について

本市では、（障がいを持つお子さんのご両親には）養護学校に行くという選択肢が少なく、普通学校へも行けるのかという情報が全然ないとのことである。①本市の障がい者認定の基準はどのようになっているか。②本市だけのものか。各市町村違うのか、県で決められているのか。③基準はだれが決めるのか。④普通学校か養護学校かの判断基準はどのように、だれが判断しているのか。そういう情報はどこで教えてもらえるのか。⑤小中学校は普通学校に通学・卒業し（沖縄に）帰ってきたら養護学校に行くことになるというのはどういうことか。⑥本市教育委員会は、来沖しての手続きは必要ないと言いつつながら実際には入学できなかった。どういうことか、なぜそういうことが起きたのか。⑦普通学校でも大丈夫な児童、普通学校を希望する児童、両親も多いたいと思うが、それをサポートする方はおられるのか、どこへ相談に行けばいいのか。

●教育委員会指導部長

今回の件に関して、保護者と当局担当者とのやりとりの中で、保護者や児童に対し誤解や不愉快な思いを与えたとするならば、大変申しわけないと思っています。当局では、常に児童生徒の夢や希望を大切にすることを第一に考えており、今後とも子供たちの状況に適した学習環境づくりを学校や保護者及び関係機関と連携、協力しながら推進して行きたいと思っています。①②③④（一括答弁）障がい有する児童生徒の判定は保護者の同意を得た上で、本市就学指導委員会に諮られ判定され、また、特別支援学校か普通学校かの判断は、発達検査結果及び保護者や児童生徒に対する就学指導委員会の面談等を踏まえ学校教育法施行令第二十二條の三のつとて行われ、最終的な判定の受け入れは保護者及び児童生徒本人に委ねられます。⑤⑥（一括答弁）本件は、平成十九年に県外から本市へ転入されてきた家族のことと認識しています。普通学校、特別支援学校いずれを選択するにしても、本市の就学指導委員会の判定が必要であり、そのため規則上本市へ住所を移した上でできない旨説明し、理解をいただいています。その後、二月末から三月初旬に本市へ転入されましたので、保護者の同意を得て就学指導委員会を実施し、その結果、特別支援学校への進学が適当との判定がなされ、その結果を保護者へ説明し、判定を受け入れていただいた上で学校へ入学しました。⑦当局では特別な支援を要する児童生徒のために、特別支援教育支援員二十三人、教育介助者五人、特別支援教育巡回相談員、保健師、発達検査員を配

置し、保護者や児童生徒のサポートに当たっています。

○高江洲義八議員

沖縄語の継承普及について

日本語の古い型を多くとどめ、美しく貴重な言葉だと言われているウチナーグチが忘れ去られようとしている。沖縄のすばらしい文化を守るためにも、その元であるウチナーグチを後世に残していかなければならないと考える。ユネスコによってウチナーグチが絶滅危機言語に指定されたこともあり、沖縄県は平成十八年に、九月十八日を「しまくとぅばの日」とする条例を制定し、県教育庁としても各地で方言講座の開設など施策を展開しているようであるが、教育委員会として、これまでどのような取り組みをしてきたか。また、地域や学校での取り組み状況について把握しているか。

●教育長

各学校ともボランティアで方言講座をやりたいという話があり、小学校はクラブ活動、中学校では総合的な学習の時間を利用して入ってもらっています。地域においても文化協会との連携により「しまくとぅば語やびら大会」などが現在実施されており、今後も学校や地域での取り組みを強化していきたいと思っています。

●教育委員会指導部長

現在、学校教育の中で系統立てた方言の指導は行われていませんが、各学校で方言による民話の読み聞かせ、学芸会等での方言劇、エイサー、三線、空手、琉舞、童歌などを学校行事や総合的な学習の時間に取り入れ、これらの活動を通して方言に触れさせています。このような教育

活動は、伝統文化の継承と沖縄県民であることへの誇りやアイデンティティの育成につながるものと考えており、教育委員会としても大いに奨励し支援しているところです。校長会においても学校のクラブ活動などでウチナーグチ会などの活用をお願いしたところであり、今後とも沖縄語の継承発展を大切にしていきたいと思っています。

○諸見里宏美議員

IT環境の整備について

県教育委員会は、国際社会に生きる人材及び情報活用能力の育成を目指して、国際化、情報化への対応として、「すべての幼児、児童生徒が高等学校卒業段階においてコンピュータやインターネットの基本的な活用等が可能となるよう、時代の進展に対応したIT教育のための環境整備に努めるとともに、幼児児童生徒の情報活用能力の育成を図る。」としているが、(本市の)幼小中学校のIT環境整備は現在どのようになっているのか。また、指導面において、中学校ではかなりの指導力が必要となるが、どのような人が担当し、小中学校の校内LANの整備はどうなっているのか。さらにインターネットを活用した授業の展開が図られているが、各学校におけるネットワークのセキュリティ対策、有害情報フィルタリングの集中管理、PCの保守管理はだれがしているのか。IT導入時の予算見積もりはどこまでなされているか。

●教育委員会指導部長

IT環境の整備として教育用コンピュータ整備事業の中で小中学校のこ

ンピュータ教室のパソコン及び周辺機器の整備を年次的に実施しており、本年度は美里、沖縄東中学校を予定しています。幼稚園は先生方の業務用コンピュータについて、随時、整備しています。活用状況について、小学校では、触れる、なれる、活用するといった発達段階に応じた指導、中学校では、プレゼンテーションソフトや画像処理ソフトを活用して操作能力、情報活用能力を身につけるとともにインターネットを活用した学習を行っています。幼稚園では、現在パソコンを活用した学習は行っていません。教職員についても研修会等を行っています。中学生のIT教育の指導として、技術科のプログラムに関しては技術科の担当教諭、プレゼンテーションや総合学習等は学級担任と情報担当が指導することになっており、校内LANのネットワークについては校務分掌で各学校の情報教育担当教諭が行っています。予算については、パソコン本体、周辺機器、各ソフト等すべてを含めて見積もりをお願いしています。

●企画部長

学校関係のネットワークは、有害情報等のフィルタリングも含め情報推進課で管理しています。

○高橋真議員

公園整備事業について

美里、宮里、古謝地域における整備未整備の状況、件数、一人当たりの公園面積や計画、供用面積、トイレや遊具の設置状況などを伺う。また、未整備の美里第五公園は、地域の高いニーズが感じられ、水洗トイレの設置を含めた整備が



望まれているが、整備の見通しがあるか、できないのであれば何が課題か、解決に向けた取り組み方法は。津嘉山公園は、数年前に老朽化した遊具を取り外して以来再設置は行われておらず、子供たちの遊び場として再設置を望む声があるが、遊具設置はできないのか、できないのであれば何が課題か。市内の未整備公園の整備については優先順位があるのか。

## ●建設部長

市内一一〇カ所の公園のうち整備済み九十九カ所、未整備十一カ所となっております。都市公園整備面積は平成二十二年一月現在、一人当たり九・三平方メートルとなっております。本市の都市計画マスタープランでは、平成三十七年の一人当たり都市公園整備面積の目標を二〇平方メートルと定めています。美里地域は美里、美里第一、美里第二、美里第三、松本第二、吉原公園が整備済み、若夏、美里第四、美里第五公園が未整備で、美里、美里第一、美里第二、美里第三、松本第二の五公園にトイレ及び砂場等の遊具、美里、美里第一の二公園にバスケットリングが設置されています。美里第五公園の整備については、未整備公園の多い東部、中部北地域とのバランスもあり、予算等を勘案しながら早目に取り組んでいきたいと思えます。宮里地域は、宮里、宮里第二公園が整備済み、宮里第一公園が未整備です。③古謝地域は、津嘉山公園が整備済みで未整備公園はありません。トイレ設置はなく、砂場があります。老朽化したブランコを撤去してありますので再設置に向けて取り組んでいきたいと考えています。優先順位ですが、基本的には地域バランス（公園が少ない、

未整備公園が多いところを先に整備）をみて泡瀬、美里地区を優先的にやっていますが、必要があると考えていますが、予算状況等も勘案しながら取り組んでいきたいと考えています。

## ○仲宗根誠議員

### 仲宗根町の道路の安全性について

当該地域には市役所や新聞社、病院等が立地し、また、くすのき通りから室川、コザ十字路方面への抜け道となっていることから交通量が非常に多いが、米軍キャンプ返還後の区画整理により現在の基盤目状に道路が整備されたため道幅にほとんど差がない箇所が多く優先道路がわかりにくくなっており、出会い頭の交通事故が非常に多いと感じている。カーブミラーや停止線といった視覚に訴える対策だけではなく、強制的にスピードを落とさせるを得ない措置、施策も必要だと思いが、仲宗根町における交通事故に対し、これまで市が行った対策があるか。

## ●市民部長

当該地域については、復帰以前に整備されたところで、現在、標示・標識の設置、一時停止線の標示、信号機の設置等を行っています。お尋ねの箇所については、優先進行と一時停止がわかりづらいとの声もあり、地域の実情に詳しい自治会長、学校関係者等の意見を再度お聞きし、調査の上、沖縄警察署に要請したいと考えています。

## ○普久原朝健議員

### 泡瀬第三自治会と海邦町自治会との境にある旧海中道路等について

ここは自然発生的に、唯一海邦町と泡

瀬第三自治会を結ぶ、車が通れるような通路ができていたが、去年の六月ごろ、通行人に危険が及ぶということで閉じられ、今年九月、（市議会議員）選挙が終わった後にまた開き、その後トンブロックを置いて閉じられている。我々が海邦町に行くには混雑交差点を通らねばならず、南に行こうが北に行こうが必ず信号を幾つか通過しないと行けない。この海中道路の部分を使えばすぐに行けるし、消防の東部出張所もでき、救急車も短時間で泡瀬第三（自治会区域）まで来られるということもあり、通路はどうしても必要である。海邦町と泡瀬第三自治会を結ぶ道路について、開けることができるか、開けるとすると場所はどこになるか、時期はいつごろになるか。

## ●建設部長

海邦町と泡瀬第三自治会を結ぶ道路については、現在、策定中の旧海中道路跡地活用基本計画に基づく整備がなされるまでの間、暫定的な道路として泡瀬第三公民館裏の遊水池北側の箇所が可能か検討しているところです。この箇所は、交通安全の観点から懸念を示す住民意見もあることから慎重に検討しているところで、現在、海邦町自治会と泡瀬第三自治会に検討案について資料等を送付し説明の上、自治会においても検討をお願いしているところです。十一月中旬までにということで求めている回答を待って、進めていきたいと思えます。当然、両自治会の合意が必要だと考えており、合意ができるように我々も取り組んでいきたいと思っております。

## ○長嶺喜清議員

### 建設行政について

①国税庁西側線は古謝から美里の国税庁側の橋げたも含めて工事が進んでいるが、進捗状況はどうか。道路新設により接続部分となる周辺地域などに影響がないか。②胡屋十字路スクランブル交差点は、本当に活性化するのであれば、渋滞を緩和して市民、県民、観光客が来やすい状況（をつくるため）、今、何をやっていくかが大切だと思う。現在の状況今後について伺う。③仮称美東公園の計画について伺う。④東部地域の公園について、ア、区画整理地域内は緑地帯をつくらないといけないということで公園等の整備が進んでいるが、それ以外の地域の公園計画はおくれているか、状況を伺う。イ、今回配布された（防災）マップには、マンタ公園とあと二カ所ぐらいしか災害時の避難場所がない。仮に地震と津波を併合した災害だと高台に避難場所を設置しないと行けないと思うが、それを受け入れられる公園の整備について伺う。

## ●建設部長

①国税庁西側線は、今年度、橋梁下部工事三基、上部工八四メートルを整備し今年度末の全体の進捗は七一・六％となる予定です。現在、工事により農道古謝十四号線を通行止めになっていますが、平成二十五年度には国税庁西側線への取り付けを計画しており、通行は可能となります。同十五号線についても平成二十五年までには接続できることになっていきます。②胡屋交差点のスクランブル化は本市中心市街地の活性化を図ることを目的

に、コザ・ミュージックタウン音市場と合わせて実現したもので、同交差点の信号サイクルは、歩行者の安全な横断を第一に自動車交通量に基づき、コンピュータにより信号の待機時間を調整していると聞いています。短期的な渋滞緩和には信号サイクルの一層の効率的な自動制御などが有効と考えられますが、一番効果的なのは、交差点の交通容量を上げる交差点改良であり、平成二十五年から平成二十六年にかけて県道二〇号線の交差点改良工事がこの地域に入る予定となっていることから現在より渋滞は緩和されるものと考えています。ただ、その間どうするかについては関係部署と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。③仮称美東公園の計画について、早期整備が必要だと認識しており早期事業化に向けて取り組んでいきたいと考えています。④ア・東部地域における区画整理地域以外の設置計画については市全体の公園の配置のバランスや規模を踏まえ、財政状況等を勘案しながら検討していきたいと考えています。

●総務部長

④イ・東部地域における公園の避難場所は、海邦町のマンタ公園、泡瀬の黒潮公園、比屋根の沖縄県総合運動公園の三公園を指定していますが、東部地域は、高潮警戒区域に指定されており高潮や津波による浸水災害の発生が想定される場合は東部地域以外の公園も含め避難場所として指定することになります。

○瑞慶山良一郎議員

中心市街地活性化事業について

①東門市長は四月の選挙でこの中心市街地活性化事業をメーンに本市を復活させていきたいと公開討論会、各地のあいさつで話していた。進捗状況はどうか。五十事業百三十七億円の中にどういった事業があるのか。例えば山里地域、再開発が何億円、そのうち本市の持ち出しは幾らか。安慶田地区の再開発、どのぐらいの予算規模で、市の持ち出しは幾らなのか。五十事業の中にコリンザの買い取りも入っているのか。②中心市街地活性化事業の目玉ともいえるリノベーション事業は、空き店舗を、事業をしたい人たちの要望に沿うように改装し事業をさせていくというものである。改装する際、市内業者の利活用は前提だと思いが、選び方、指名、指定の仕方をどれぐらいのレベルで考えているか。NPO法人が委託を受けてこの事業を進めているが、NPO法人といっても民であり、民だけに任せて税金である国からの交付金、補助金等のしつかりしたチェックができるのかも含めて行政とのかかわりを教えていただきたい。

●経済文化部長

①中心市街地活性化基本計画の主要事業の事業費について概算で申し上げます。安慶田土地区画整理事業の総事業費は六十六億四千七百万円（国庫補助四十億九千九百万円、市負担額二十五億四千八百万円）、山里第一地区市街地再開発事業の総事業費は四十億八千三百万円（国庫補助十二億九千九百万円、市負担額：負担額の調整があり現時点未定）。コリンザにつきましては、計画認定時に事業費が確定しておらず、含まれていません。②本市が実施する事業については、地元

企業優先発注の方針を定め市内企業への優先発注を推進しています。胡屋地区リノベーション事業は、国の補助を受け民間が実施する事業ですが、市内企業優先という本市の考え方を十分にご理解いただき、配慮していただくことが重要だと認識しており、実施主体に市内企業優先を呼びかけていきたいと考えています。契約手続については、国の補助金交付要綱に沿って公正・公平に行われるものと考えています。

○小浜守勝議員

市長選挙、市議会議員選挙について

今、市民は行政に、議会に、政治に何を望んでいるのか。行政（市政）に対する市民の意見、議員（議会）政治に関する市民の意見、市民が行政や議会（議員）に期待する（望む）ことは何か、その他市政運営に参考になる事項など独自のアンケート調査を行い市民の考えを把握すべきだと思ふ。市長選挙（五一・〇三％）、市議会議員選挙（五四・三八％）と過去最低の投票率となった原因について、本市独自の世論調査（アンケート調査）等できないか。

●総務部長

今回の市長選挙、市議会議員選挙の投票率が前回に比べ低下したことについては、市の将来を見据えたまちづくりが懸念され、市としても大きな課題であると認識しています。市民が安心して住める豊かな地域をつくるということで、市民一人一人がまちづくりへ参加するという思いを伝えるため、みずから判断し、代表を選ぶという一票の重みを認識してほしいと考えており、日ごろから市民の声

に耳を傾けるとともに行政の説明責任、情報公開等、市民に開かれた市政運営を心がける必要があります。市民への選挙に関する啓発及び周知等については、公職選挙法で選挙管理委員会の責務として選挙が公明かつ適正に行われるよう常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治常識の向上に努めると規定されています。そのため市民が行政や議会に何を求め、何を要望しているのか、また選挙への関心度について市民がどのように受けとめているのか等、市独自のアンケート調査については、選挙に関心を持っていただくための選挙人の政治意識の向上について選挙管理委員会とともに検討していきたいと思います。

○与那嶺克枝議員

市街地の無料駐車場の実施について

一番街周辺への集客のためには、何となくでも無料駐車場の実施なくしては人は呼べないと思う。店舗を探すにもまずお客さんのための駐車場がなければ商売はできないと言われている。北谷町と本市の違いは駐車場ではないかと思う。北谷町は、まちの真ん中にあれだけの駐車場があるということで、駐車料金を心配せずに安心して映画を見たり散歩できるといふ大きなメリットがある。空き店舗の補助金同様、駐車場に対しても時間を設定して補助金を考えるなど、一番街等の無料駐車場を実施する考えはないのか。

●経済文化部長

本市の中心市街地における無料駐車場については、平成十七年コリンザ近くに設置した中央公共駐車場が利用頻度も



高く、イベント開催時などに広く活用されておられ、中心市街地活性化基本計画策定段階で行った市民の方々へのアンケート調査でも無料駐車場を望む声が非常に高く重要性は十分認識はしています。ただ、周辺の有料駐車場との関係や財源などの課題もあり、今後、地域の方々、駐車場を運営されている方々の意見をお伺いしながら検討していきたいと考えています。また、中心市街地の民間駐車場は、位置、料金等の情報不足により稼働率が非常に低い状況にあり、今後、これらのストックを有効活用するという観点から、中心市街地活性化基本計画にも位置づけている駐車場の位置情報等を発信する駐車場誘導システムを構築していきたいと考えています。なお、有料駐車場の助成については、駐車場経営者や商店街の方々とは話し合いを進めていきたいと考えています。

## ○新屋勝議員

### スポーツコンベンションシティ宣言について

本市は一九九六年「スポーツコンベンションシティ宣言」をしており、沖縄市をスポーツのメッカにし、活気に満ちたまちづくりを目指すことがねらいとあるが、これまでの活動状況、スポーツ合宿の受け入れ状況、過去五年間の合宿による宿泊数、今後の取り組みについて伺う。また、宣言の中に、「わたしたち市民は、スポーツ交流を通し文化を高め、活気に満ちたまちをつくりまします。」とあるが、スポーツ交流とは県内の交流か、県内外の小中高校生、一般の交流も行っているのか。

## ●経済文化部長

本市はこれまで市、県運動公園を有する恵まれた環境を生かしてスポーツコンベンションシティとして地域活性化に努めています。特に広島東洋カープの秋季キャンプをはじめ、社会人、大学、高校生などのスポーツ合宿で冬場の宿泊施設稼働率は高いものがあります。過去五年間のスポーツ合宿の受け入れ状況及び宿泊数は、平成十七年度から平成二十一年度の五年間で平均四十六団体、宿泊延べ人数平均約一万二千六百人です。今後の取り組みとして、スポーツ合宿の継続、さらなる誘致活動に向け関係機関、関係団体と連携を図りながらプロモーション活動を展開していきたいと考えています。

スポーツ交流につきましては、現在、県外の方々を中心にプロ、社会人のアマチュアの方、高校生等のスポーツ合宿を市内で行っていたいただいているところで、こういう一流の選手と子供たちがスポーツに触れることができる、例えば小中学校でスポーツの講習会をしていただいている実績もあり、スポーツ交流が行われていると考えています。

## ○阿多利修議員

### 選挙時に市内にあふれるポスターや立看板について

今年四月の市長選挙、七月の参議院選挙、九月の市議会議員選挙、また十一月には知事選挙が行われるが、電柱や街路樹等へのポスターに市民からの批判もある中、ぜひ何らかの形で改善していきたいという思いで、お尋ねさせていただきたい。電柱や街路樹等へ選挙のとき候補

者のポスター、看板、横断幕を取りつけることについて、沖縄市の平和、文化観光都市にふさわしいか。また、県も沖縄県屋外広告物条例の中で具体的に（ポスター等の張り出しを）禁止している。個々の紳士協定ということもあるが、本市が手本となり、明るい選挙を行っていきたいという思いであり、市民の投票率アップにもつなげていけるような形も含めて、今後検討しながら条例にも結びつけたいという思いがあるが、条例制定に向けてどのような考えがあるか。

## ●市長

選挙時にポスター等が至るところに貼り出され、一部まだ撤去がなされていないなど市民からの苦情も寄せられており、心が痛いところです。北谷町では議員同士自主規制という紳士協定の中、まごの美観が選挙期間中も保たれていると伺っており、本市もお互いが今後に向けて、ともに議論を深めていければと思っています。

## ●選挙管理委員会委員長

（ポスターの張り出し等）については、公職選挙法第一四三条で禁止されています。選挙に関する法律はつくれないのではないかと思います。県の指導を受けて、沖縄市の美化についてどのような条例が必要か調査し制定の可能性も含めて検討させていただきたいと思えます。

## ●建設部長

県の屋外広告物条例は全県区が対象となっており、特に沖縄市に限って独自のものをつくるということは考えていません。屋外広告物条例の内容については、（中部地区は）中部土木事務所の管轄扱いになると思えます。

## ○棚原八重子議員

### 銀天街の景観整備について

銀天街の景観整備については、中心市街地活性化事業に取り入れられているのか、別事業なのか。この拡張工事は前から計画されており、今年でもう終わる。本来、並行して残地や壁面の問題を解決するのが筋であり、市民が非常に不安がつている。なぜ、これまでおくれをとっているのか。また、アーケードの面のほうも中心市街地活性化事業に入っているのか。

## ●建設部長

残地の扱いの事業の位置づけですが、中心市街地活性化基本計画五十事業の中の国道三三〇号沿線の土地利用計画の環境としてこの事業を位置づけており、社会資本整備総合交付金の効果促進事業として、国道三三〇号沿線の景観整備というのを位置づけています。中心市街地活性化基本計画五十事業の中に国道三三〇号沿線の土地利用計画があり、それを受けた補助メニューとして社会資本の総合交付金があり、それを活用し効果促進事業として市として景観整備事業を行うということで、間接的ですが関連づけられているということですが、平成二十二年に創設された社会資本整備総合交付金という事業メニューで、基幹事業のほかに効果促進事業ということですが、ト事業ができるようになっていきます。今までこういう事業は、単費で対応しているのですが、補助事業メニューに加えられるので、今年度手を挙げて新しい制度を活用し、来年度には事業化でき

るように取り組んでいきたいということ  
です。

## ●経済文化部長

銀天街の景観整備については、国道三三〇号沿いの景観整備として、食とアートと交流のまちづくり事業により、アート等を施した簡易的なファサード幕の設置を、来月を目的に銀天街商店街が南部国道事務所と連携して行う予定となっております。また、銀天街の看板設置については、十一月いっぱいアーケード入り口付近五カ所に看板設置の予定で進めています。

## ○花城貞光議員

### 市立保育園の民営化について

①民営化について、全国及び県内市町村の動向はどうか。②公務員の保育士と民間の保育士に能力格差が存在するか。③すべての市立保育園を完全民営化、または公設民営化すべきだと思うが、いかがか。④市立保育所を民営化した場合、保育士の処遇が問題であるが、市はどのように検討しているか。

## ●健康福祉部長

①全国的に私立保育所への移行は進んでいると思われ、県内十一市では、これまで六市で計十八カ所の公立保育所を民営化しています。平成二十二年度以降に民営化を予定している市は五カ所あり、今後二十カ所が民営化される予定となっております。②いずれも保育の専門知識を有する保育士（国家資格）として保育業務に専念しており、技術的な能力格差はないものと考えます。③公立保育所の役割については、沖縄市保育所等整備運営基本方針（平成十八年に制定）で挙げら

れた公立保育所が担う五つの役割や沖縄市活性化一〇〇人委員会公立保育所のこれからの役割を考える部会からの四つの提言などが考えられ、完全に民営化せず、一部継続運営していく必要があると考えています。④沖縄市保育充実計画において公立保育所には地域のモデルや子育て支援のアンテナ役としての役割を担って

いくだけの施設数の維持が求められていることから、五カ所の保育所を拠点として地域のモデルとなる保育の実施や地域における子育ての実態把握や情報提供など先駆的な取り組みを図ることとしていきます。その役割を踏まえ、公立保育所六カ所を民営化した場合の保育士の処遇については、今後、拠点保育所五カ所に集約再配置を行い、これまで培ってきた経験や知識、技術等を地域の子育て支援に生かせるよう適切な職員数の確保、保育の充実を図っていききたいと考えています。

## ○桑江直哉議員

### 東部海浜開発事業について

①去る九月三十日、環境省は国際的に貴重な湿地を保全するラムサール条約の基準を満たした湿地を選定したと発表した。その中に沖縄市の泡瀬干潟を含む「中城湾北部」も入っている。泡瀬干潟はラムサール条約の基準の何を満たしているのか。②ラムサール条約登録により本市にどういったメリットがあるのか。今後、環境省と協議してラムサール登録する予定があるか、いつごろを考えているか。また、観光、教育の現場から、もしラムサール条約に登録できたらどのようなように泡瀬干潟を利用したいか。埋め立て後

環境が変わり、ラムサール条約の基準に合わなくなった場合、だれが責任をとるのか。

## ●市民部長

①環境省自然環境局野生生物課の報道発表資料によると、ラムサール条約における国際的な基準が一から九まであり、そのうち泡瀬干潟を含む中城湾北部は、一、二、三、六の四つの基準を満たすとして、ラムサール条約湿地潜在候補地に選定されています。（以下略）②一般的メリットとして、国際会議などの開催、学校教育や生涯学習、レクリエーションや観光の対象としての活用、地域の農水産物にラムサールブランドという付加価値がつくことも期待され、重要な湿地として国内外から注目を集めます。環境省との協議予定についてはですが、国は来年度中をめどに、地元自治体の賛意確認等の条件整備や手続を行っていくとのことですが、意見聴取の方法や時期など现阶段では未定とのこと。本市としては、関係機関も交えた調整が必要と考えており、当該地域においては総合的な観点から慎重に検討していききたいと考えています。

## ○副市長

埋め立てにより基準に合わない場合の責任ということですが、埋め立て事業者である国や県に対して、これまで同様今後行われる工事についても環境保全に必要な措置を講じてもらえるよう市として申し入れをしていききたいと考えています。

## ○池原秀明議員

### 東部海浜開発事業について

前原大臣（当時）から指示された留意事項、あるいは検討事項について見解を求める。①海外客の取り込みを含めた観光客の誘致、宿泊需要の開拓方策や目玉となる企業の呼び込み、多様な客層誘致によるリスク分散等について、②民間企業の進出可能性をより高めていくための投資環境整備について、③金融スポンサー（ディベロッパーや投資ファンド等）とオペレーター（施設の運営者）、いわゆる経営者が連携して全体の開発を主導、コーディネートするような方策、あるいは企画コンペの導入について、④行革努力の継続と地方税収の推移に十分留意した財政運営になっているのか。それぞれ対策を伺いたい。

## ●建設部長

①②③沖縄担当大臣からの四つの留意事項については、本計画の実現に向けて精力的に検討を深め、責任を持って取り組んでほしいとされているものであり、今後、調査研究を行い、また、県と協力しながらしっかりと対応していきたくと考えています。④市の行政運営については、総合計画及び基本計画に基づき計画的に進めるとともに、行政改革大綱による行政改革を引き続き実施し、財政構造の弾力性と多様な市民サービス向上の推進を図るよう取り組んでいるものです。東部海浜開発事業についても、こうした行政サービスの一環としてしっかりと計画性を持って取り組んでいきます。



# 沖縄市議会だより

○辺土名 和美議員

(仮称) 美東公園について

まず、比屋根区画整理事業組合から(仮称)美東公園になるまでの経過を伺う。(仮称)美東公園付近には高原小学校や愛の泉保育園などがあり、多くの子供たちがよく通る場所であるが、福祉文化プラザ駐車場に利用されるくらいで草が伸び放題、荒れ放題になっている。市でたびたび草刈りなどしているようだが、連絡しないと来てくれないとのことである。景観上も悪い上、このままでは危険な場所でもあり、安心して生活できる環境づくりが必要だと思う。工事が始まるのはいつなのか、そしてその間、草刈りはどういう頻度で行っているのか。今後の整備や事業計画を伺う。

●建設部長

(仮称)美東公園になるまでの経緯として、昭和六十年より比屋根区画整理事業組合による区画整理事業が着手され、平成十四年市へ当該地の管理引き継ぎがあり、平成十八年には当該公園予定地が市に移管されました。その後、平成二十一年に当該地にあつた残土処理を市で行い、現在に至っています。当該公園は早期の整備が必要だと認識しており、早期にワークショップや市民アンケートの住民意見を集約した整備計画を策定し、都市計画決定、事業認可、詳細設計を経て本格的な整備、早期の事業ができるよう取り組んでいきたいと考えています。

○小渡良太郎議員

軽自動車税等税金の納付について

本市行政運営の根幹となるのは市民の税金であり、税金の納付率を一〇〇%に近づけるための一環として、納付の際の利便性向上を図ることは当然の努力だと思ふ。税金を払うことがより身近になれば納付率も上がる。昨今、さまざまな自治体で税金のコンビニ納付が一般化しつつあり、実際、軽自動車税のコンビニ納付を取り入れたら納付率が目に見えて上がったという他市町村のデータもあり、ぜひすぐ取り組んでいただきたいと思うが、本市でこのようなシステムを導入する予定があるか、コンビニ納付以外にも納付率向上のための取り組み、市のプランなどがあれば教えていただきたい。

●総務部長

現在、市税の納付については、県内の金融機関や郵便局等で納付することができ、納税者の利便性向上を図るための納付機関の拡大については、コンビニでも納付できるよう準備を進めており、平成二十三年度から軽自動車税のコンビニ納付を開始予定です。徴収率の向上は大きな課題ととらえており、他の税目についても導入できるように引き続き調査研究していきたいと思つています。納付率向上のための取り組みやプラン等ですが、ホームページや市税だよりへの納期のお知らせの掲載、各税目の納付期限月に広報誌への掲載、さらに納期一週間前には防災無線による案内をしています。口座振替の推進についても、当初納付書に口座振替手続用紙を添付しているほか、納付相談や納付書再発行の依頼の際にも口座振替の案内をしています。

謹啓 秋涼の候ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私どもこのたび沖縄市議会議長並びに副議長に就任いたしました。

もとより微力ではございますが、地方自治の伸展と市民福祉の向上に専心努力いたす所存でございます。

なにとぞ今後とも格別のご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

まずは、略儀ながら書中をもって就任のご挨拶といたします。

敬具

平成22年10月

沖縄市議会議長 仲宗根 弘  
沖縄市議会副議長 与那嶺 克枝

謹啓 秋涼の候ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども、去る9月27日任期満了により、議長及び副議長の職を退任いたしました。

在職中は公私とも格別のご懇情とご指導を賜り大過なくその職責を全うし終えたことは、ひとえに皆様のご指導のたまものと存じ、心より厚く御礼申し上げます。

なにとぞ、今後とも相変わらぬご厚誼のほどをお願い申し上げます。

まずは、略儀ながら書中をもってお礼かたがたご挨拶といたします。

敬具

平成22年10月

前沖縄市議会議長 喜友名 朝清  
前沖縄市議会副議長 渡嘉敷 直久

## 平成22年9月第341回定例会審議結果一覧

提出者	番号	件名	議決月日	結果
市長	議案第1号	沖縄市男女共同参画センター条例	10月14日	原案可決
”	議案第2号	沖縄市特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例	”	否決
”	議案第3号	沖縄市災害対策本部条例	”	原案可決
”	議案第4号	沖縄市社会福祉センター条例	”	”
”	議案第5号	沖縄市農民研修センター条例	”	”
”	議案第6号	沖縄市民ふれあい農園条例	”	”
”	議案第7号	沖縄市職員定数条例の一部を改正する条例	10月5日	”
”	議案第8号	沖縄市庁舎建設基金条例の一部を改正する条例	”	”
”	議案第9号	沖縄市消防手数料条例の一部を改正する条例	”	”
”	議案第10号	沖縄市火災予防条例の一部を改正する条例	”	”
”	議案第11号	沖縄市働く婦人の家条例を廃止する条例	10月6日	”
”	議案第12号	町の区域の設定について	”	”
”	議案第13号	[中部流域]安慶田雨水調整池設置工事(第1工区)の請負契約変更について	”	”
”	議案第14号	訴えの提起について	”	”
”	議案第15号	沖縄市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	”	同意
”	議案第16号	平成22年度沖縄市一般会計補正予算(第2号)	10月7日	原案可決
”	議案第17号	平成22年度沖縄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	”	”
”	議案第18号	平成22年度沖縄市老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	”	”
”	議案第19号	平成22年度沖縄市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	”	”
”	議案第20号	平成22年度沖縄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	”	”
”	議案第21号	平成22年度沖縄市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	”	”
”	議案第22号	平成22年度沖縄市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	”	”
”	議案第23号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	10月14日	同意
議員	議案第24号	沖縄市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	10月20日	原案可決
”	選挙第1号	議長の選挙	9月28日	投票
”	選挙第2号	副議長の選挙	9月29日	”
”	選挙第3号	倉浜衛生施設組合議会議員の選挙	10月14日	指名推選
”	選挙第4号	沖縄県後期高齢者医療広域連合議会の議員の選挙	”	”
”	選任第1号	常任委員の選任	9月29日	選任
”	選任第2号	議会運営委員の選任	”	”
市長	報告第1号	平成21年度決算に基づく沖縄市財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について	10月7日	報告
教育委員長	報告第2号	平成22年度沖縄市教育行政の事務の点検及び評価報告書(平成21年度事業実績)について(提出)	”	”
監査委員	報告第3号～第8号	例月出納検査報告	10月20日	”
議長	報告第9号	諸般の報告	”	”
議員	意見書第1号	尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する意見書	10月20日	原案可決
”	決議第1号	尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する抗議決議	”	”

沖縄市議会では会議録検索システムを市議会のホームページに掲載しています。

- 沖縄市議会HP <http://www.city.okinawa.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=140>
- 会議録検索システム <http://www02.bbc.city.okinawa.okinawa.jp/kaigiroku/>
- 掲載会議録 平成4年3月第166回定例会から掲載しています。